

2017年フォーラムプログラム詳細

フォーラム番号	Y13	GIA
---------	-----	-----

企画委員会	エレクトロニクス部門委員会	マルチメディア部門委員会	ITS部門委員会
-------	---------------	--------------	----------

テーマ名和文	Cars that think and communicate I
テーマ名英文	Cars that think and communicate I
テーマ名副題和文	セルフ・ドライビング・カーに向かって
テーマ名副題英文	Toward Autonomous Driving

開催日	2017/5/26	AM
会場名	パシフィコ横浜メインホール	

参加のすすめ	近年、自律・自動運転技術は急速に発展し、実用化に向けた開発が積極的に行われ、市販化の取り組みも始まっている。このような自動車技術の革新は、自律・自動運転(走行)に関わる技術だけでなく、人と車に関わる車載機器・車両制御技術や車が周囲と通信する機器などに変革をもたらし、自動車技術のあり方に大きく影響するであろう。本フォーラムでは、昨年同様に、エレクトロニクス、ITS、マルチメディア3部門委員会合同で、安全で信頼できる自律・自動運転の実現に必要な、車が自ら考え、運転者や周囲と協調する技術について議論し、近未来技術やその可能性を紹介し、将来の方向性について考える。 Iではシステムやその可能性について議論する。
--------	---

関連分野	⑬エレクトロニクス及び制御	⑭情報・通信及び制御
------	---------------	------------

プログラム

開始時間	終了時間	役割	演題	氏名	勤務先
9:30	12:30	司会		坂上 義秋	本田技術研究所
9:30	9:40	挨拶	Cars that think and communicateの開催にあたって	福田 敏男	名城大学
9:40	10:20	講演者	SIP自動走行システムの取り組み —大規模実証実験及び国際連携の推進—	葛巻 清吾	内閣府
10:20	11:00	講演者	自動運転技術への取り組みと今後の課題	田口 康治	トヨタ自動車
11:10	11:50	講演者	自動運転技術開発の取組みと今後に向けて	相田 圭一	本田技術研究所
11:50	12:30	講演者	自動運転技術とコネクティビティが創る未来社会 — 全ての の人に「走る喜び」を永遠に提供し続け、自らDriveすること により、心も体も元気な人で溢れる社会の実現 —	栃岡 孝宏	マツダ